

2021年10月から2024年3月までの間に当院を受診されたがん患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会で倫理的観点及び科学的観点から中立的かつ公正に審査され、研究機関の長に認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。この研究へのご質問や研究に係る相談だけでなく、個人情報の開示を希望される場合、研究計画書及び研究の方法に関する資料の入手又は閲覧を希望される場合は、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。研究計画書等は、他の研究対象者等の個人情報及び知的財産の保護等に支障がない範囲内で閲覧が可能です。

記

研究課題名	がん診療均てん化のための臨床情報データベース構築と活用に関する研究
研究機関の長(試料・情報の管理責任者)	愛知医科大学病院 病院長 道勇学
研究責任者	外科学講座(乳腺・内分泌外科)(職名)教授(氏名)中野 正吾
研究の対象となる方	2021年10月から2024年3月までの間に当院を受診されたがん患者さん
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2027年3月31日
研究目的及び利用方法	<p>[研究目的]</p> <p>1. 院内がん登録とDPCデータ(診断と治療内容に関するデータ)のリンクデータを作成した、採録負担の少ない方法で診療実態の把握や標準診療実施率(QI)の算定・参加施設へのフィードバックなどを行いQIシステムの妥当性の検証・構築を行うこと。</p> <p>2. 構築された院内がん登録DPCリンクデータについてデータベースを構築し、がん対策、がん診療の向上のために有用な解析を行うとともに、その他の活用方法を検討すること</p> <p>[外部への試料・情報の提供]</p> <p>専用のソフトを使用し、個人を識別できないようにDPCデータを加工する。加工されたDPCデータは、暗号化、圧縮され、さらに通信経路を暗号化した専用のWebシステムを使って国立がん研究センター医療政策部医療政策部の研究事務局に送付される。</p> <p>[外部への提供開始日]</p> <p>DPCデータが整い次第</p>
研究に用いる試料・情報の取得方法及び項目	試料：非該当 情報：診療録からDPCデータを収集
提供する試料・情報を用いる学外の研究責任者	国立がん研究センター がん対策研究所医療政策部 石井 太祐
試料・情報を利用する学外の者	国立がん研究センター がん対策研究所医療政策部 石井 太祐

試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	がん診療情報などの本研究への利用を拒否される方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。本研究では、国立がん研究センターにがん診療情報が集められるものです。国立がん研究センターに提出するまでに間に合えば、研究への利用を取りやめます。
外国への試料・情報の提供	非該当
問い合わせ先	愛知医科大学病院 外科学講座（乳腺・内分泌外科） 担当者：（職名）教授 （氏名）中野 正吾 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 23125）